

次号のNEWSLETTERの発行は、3月を予定しています。
研究発表会の様子や本年度の研究成果の報告などを掲載
する予定です。



第24回 教育研究発表会

令和5年2月17日(金)

今年度はハイブリッド開催!!
学校からも参加できます!!

* 詳細は裏面に

~3min.配信中~

研究課のHPにて研究の概要
を動画で紹介しています。
ぜひご覧ください。

* 各研究員のQRコードから
アクセスできます。



算数科・数学科における 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の 在り方を求めて



研究員: 梶村 契・寺井 淳

子どもが自分に合った方法で
学びを進めていける授業とは、
どうすればいいのでしょうか。

子ども一人一人が、自分に適した“学習方法”
や“学習課題”を自己選択・決定し、学び進める授
業デザインを提案しました。自分に適した学び方
で他者と共に学び合うことで、算数科・数学科とし
ての課題解決する力を高めることができました。



家庭学習と授業の相互で目指す 学習を自己調整する力の育成

研究員: 久保田 守



「どのように勉強したらいいかわから
ない」と、学びを進めることができな
い子どもが、学習を自己調整してい
くために必要な要素は何でしょうか。

生徒が学習の見通しを立て、自ら
の判断で学び方を選択し、その学
び方を振り返ることで学習を自己
調整する力を伸ばしていきまし
た。自覚をもった自己調整により、学習
の質を高めることができました。



「学び続ける教師」を育む 日常的なOJTの活性化



研究員: 大上 由加里

校内で教職員同士が学び合い
高め合っていくためには、
どのようなしかけや工夫が
必要だと思われますか。

全市の小・中学校、義務教育学校、
総合支援学校を対象にアンケートを
実施しました。アンケートや取材を通
してわかってきた本市のOJTの実態
や各校の取組から、OJTを有効に機
能させるための四つの要素を考え
ました。



理科を通した 読み解く力の育成



研究員: 中村 寿樹・中村 洋平



教科書に書いてあることを難しいと感
じている子どもはいませんか。教科書
を読んでわかるようにするために、指
導者としてできることは何でしょ
うか。

教科書を活用し、文章や図表等から
情報を取り出す活動を行ってしま
した。読む機会を設定し、語句の意
味や図表等の読み方を知ることで、
情報を正確に取り出し、それをもと
に自分の考えをまとめることがで
きました。

第24回 教育研究発表会のご案内

日時 令和5年2月17日(金) 14:30~17:00(14:00より入室開始)

開催方法 集合及びオンライン開催

参加費 無料

申込先 e-アンサーにて、当センターに申し込んでください。

詳しい内容は、[京都市総合教育センター研究発表会](#) をご覧ください。

申込締切 令和5年2月1日(水) *締切が迫っていますが、申込みはお済みですか？

14:30 14:50~ 15:40 15:55~ 16:45 17:00

研究発表Ⅰ		研究発表Ⅱ	
小・中 日常的なOJT	「学び続ける教師」を育む 日常的な OJT の活性化 ~一人一人の教職員の資質・能力と 学校の組織力の向上を目指して~ 研究員:大上 由加里	中 自己調整力	家庭学習と授業の相互で目指す 学習を自己調整する力の育成 ~認知的方略の汎用的な 活用を通して~ 研究員:久保田 守
中 個別最適な学び・協働的な学び	数学科における 「個別最適な学び」と 「協働的な学び」の 在り方を求めて ~課題を選択し自立的に 学び合う授業の提案~ 研究員:寺井 淳	小 個別最適な学び・協働的な学び	算数科における 「個別最適な学び」と 「協働的な学び」の 在り方を求めて ~課題を選択し自立的に 学び合う授業の提案~ 研究員:梶村 契
小 読み解く力	理科を通した 読み解く力の育成(小) ~読み解く力の育成に 視点をおいた授業提案~ 研究員:中村 寿樹	中 読み解く力	理科を通した 読み解く力の育成(中) ~読み解く力の育成に 視点をおいた授業提案~ 研究員:中村 洋平

開会の挨拶・教育研究の方向性について

休憩・移動

本教育研究発表会を通して・閉会

第3回 フレッシュせんせい教師力アップ教室

テーマ

**『明日に向かってステップアップ!!』
今年度の実践を仲間と一っしょに振り返り、
明日からの実践に生かそう!!**

1月23日(月)に、第3回フレッシュせんせい教師力アップ教室を開催しました。今年度最後ということで、小グループで今年度の実践を振り返り、うまくいったこと、いかなかったことなどを交流し合いました。こういう場合はどうすればよいか、なぜうまくいかなかったのかなど、具体例を挙げながら活発に話し合いが進んでいました。話し合いを通して得たことを明日からの実践に生かし、残り2か月を充実させるとともに、次年度へつなげていきましょう。



参加者の感想より (一部抜粋)

- 毎回のことですが、(自分の)視点の幅のせまさを感じました。グループの中だけでもたくさんの意見が出るので、子ども達一人一人違う視点や困りを大切にできる教師を目指し続けたいと思いました。
- 相談することによって、多かれ少なかれ何か気づきが得られると思いました。なかなか学校では仕事に追われゆっくり話すという時間が取れませんが、様々な先生方と意識的に喋っていきたいです。
- 児童に対しても、保護者に対しても、一緒に働いている先生たちに対しても、何事も一生懸命に取り組むことを実践していきたいと思います。どんなことでも前向きに頑張り続けることがとても大切であり、その姿を見せるということに意味があると感じます。